

事 務 連 絡
令和元年6月21日

各都道府県トラック協会
専 務 理 事 殿

公益社団法人 全日本トラック協会
役員待遇審議役 入谷 誠

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における 交通マネジメント推進に向けた2019年夏の試行内容について

平素は当協会の業務運営に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の円滑な運営を期する観点から、東京都、国及び同大会組織委員会が推進する「2020TDM 推進プロジェクト」では、大会関係者や観客等の移動による交通量の増加等への対応として、「交通需要マネジメント(TDM)」や、道路に流入する交通量を調整する「交通システムマネジメント(TSM)」により、円滑な大会輸送の実現と経済活動の維持との両立を図ることとしております。

このような中、本年6月19日に開催された第8回「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会輸送連絡調整会議」において、大会期間中は、東京圏の広域における一般交通について大会前の10%程度減とする等の目標を実現するための方策の一部が公表されました。

また、今夏には、大会本番並みの目標を掲げ、首都高速道路及び一般道（環七内側）における流入規制等が試行されることとされました（別添）。

トラック運送業界が本大会の円滑な運営に寄与するためには、トラック運送事業者が荷主と情報を共有し、「納品時期の変更」「混雑時間・地域の回避・迂回」等の取組について荷主の理解と協力を得ることが重要であることから、貴協会におかれましても本内容をご理解の上、傘下会員事業者等への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、上記別添を含む当日の会議資料は、下記 URL からご覧いただけます。

https://www.2020games.metro.tokyo.jp/taikaijyunbi/torikumi/yusou/renrakuchousei_08/index.html

(本件に関する問い合わせ先)

公益社団法人 全日本トラック協会 交通・環境部

電話：03-3354-1045 FAX：03-3354-1019

交通マネジメント推進に向けた
2019年夏の試行内容（案）について

1. 試行の期間

▶ 大会本番並みの目標を掲げ、交通混雑緩和に向けた取組を総合的にテストする期間を設定

- 道路交通
 - ・一般交通
東京圏の広域における一般交通について、大会前の交通量の一律10%減を目指す。特に重点取組地区については、出入りする交通量の30%減を目指す。
 - ・首都高速道路における交通量の更なる減
首都高速道路については、交通量を最大30%減とすることで、休日並みの良好な交通環境を目指す。

▶ オリンピック・パラリンピックの期間に相当する期間を集中取組期間とし、企業等に重点的な取組を依頼

▶ 各社取組のピークを合わせるチャレンジウィーク及びコア日を中心に、効果測定を実施

▶ TSMは大会時と同等規模で数日試行する他、選手村～競技会場間でバスを実走

2019年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15	試行期間(スムーズBiz推進期間)				20
21	チャレンジウィーク(7/22~26)、コア日(7/24)					27
28	集中取組期間① (7/22~8/2)					3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	集中取組期間② (8/19~8/30)					24
25						31
9/1	2	3	4	5	6	7

(参考)2020年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23	オリンピック期間 (7/24~8/9)	
16	17	18	19	20	21	22
23	24	パラリンピック期間 (8/25~9/6)				
	7	8	9	10	11	12

2. 試行の概要

<試行の主な内容>

TDMに関する試行

企業等への働きかけ
(東京圏、重点取組地区、特定エリア等)

政府・都庁の取組 等

TSMに関する試行

高速道路の本線料金所流入調整、
入口閉鎖

一般道路の交通対策 (信号調整)

<検証の主な内容>

交通マネジメント (TDM+TSM) の検証

- ・ 交通量低減
(首都高、一般道)
- ・ 移動時間分布 等

TDMの検証

- ・ 事前事後アンケートによる
企業の取組内容、意向
- ・ 特定エリアでの交通低減量
- ・ 交通量の減少量の推定
等

物流の検証

物流効率化に
向けた取組の
実態調査
(サンプル調査)

TSMの検証

- ・ 本線流入調整
- ・ 入口閉鎖
- ・ 一般道路交通対策

↳ 影響把握を合わせて実施

※テストイベント等の実施に合わせ、各会場付近において大会期間を想定した交通規制等を実施・検証するほか、会場周辺の駐車場利用の抑制に関する試行などを別途実施する。

試行結果を踏まえた、追加対策の検討、大会時に向けた交通マネジメント改善策の検討 等

3. チャレンジウィークの取組

	TDM	TSM
7月22日(月)	企業等による交通混雑緩和の取組 (各社の取組のピーク)	—
23日(火)	企業等による交通混雑緩和の取組 (各社の取組のピーク)	—
<TDM取組のコア日、 オリンピック開会式1年前> ※ 24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 企業等による交通混雑緩和の取組 (各社の取組のピーク) スムーズビズ (コア日) テレワークデイズ2019 (コア日) 国の取組 	【高速】 <ul style="list-style-type: none"> 本線料金所での流入調整 入口閉鎖による本線流入調整 【一般道】 <ul style="list-style-type: none"> 環七内側への流入抑制 (信号調整)
25日(木)	企業等による交通混雑緩和の取組 (各社の取組のピーク)	—
<チャレンジウィーク期間中に 交通量が多いと予想される日> ※ 26日(金)	企業等による交通混雑緩和の取組 (各社の取組のピーク)	【高速】 <ul style="list-style-type: none"> 本線料金所での流入調整 入口閉鎖による本線流入調整 【一般道】 <ul style="list-style-type: none"> 環七内側への流入抑制 (信号調整)
備考	<ul style="list-style-type: none"> 都庁及び国の取組を含む日 集中取組期間 <ul style="list-style-type: none"> ① 7月22日～8月2日 ② 8月19日～8月30日 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や確認事項があれば8月23日(金)に再度TSMの全部又は一部を実施

※ 24日(水)、26日(金)にはTDMとTSMを同時に実施予定

4. TDMの試行内容

- スムーズBiz参加企業や、関連する取組（テレワークデイズ2019等）への参加企業に対し、試行実施を呼びかける

働きかけの手段	内容
①メールマガジン	・ 2020 T D M推進プロジェクトの登録企業（約1,600社・事業所：6/14現在）に定期的にメルマガを配信
②説明会	・ 全体説明会、地区別説明会、出張説明会（要請に応じて実施：東商支部や各協会等）
③PRチラシ 試行前アンケート票	・ 経済団体・業界団体を通じ、企業に配布 ・ 重点取組16地区でのポスティング
④イベント	・ スムーズBizキックオフイベント（5/29） ・ テレワーク・デイズ2019&スムーズBiz推進期間プレイイベント（7/1）
⑤広報 (動画、ポスター等)	・ 動画 トレインビジョン、TVCM、デジタルサイネージ（主要ターミナル駅）等 ・ ポスター 2020 T D M推進プロジェクト協力者、国、自治体、首都高、鉄道事業者等に配布 ・ 電車中吊り広告

5. T S Mの試行内容

○ T D M実施期間中に、大会時と同規模のT S Mを実施 (7/24(水)、26(金)等)

(1) 高速道路において終日実施する対策

- ・ 都心部への交通量抑制のため、都心方向への高速道路における11箇所の本線料金所で開放レーン数を終日制限
- ・ 選手村周辺等の4つの入口については、大会期間中、交通規制の形態等から大会関係車両専用となるため終日閉鎖

(2) 一般道において実施する対策

- ・ 都心部への流入交通量を減少させるため、環状七号線上の信号機について、午前5時から正午にかけて都心方向への青時間の短縮等を実施



一般道での対策



【TSM対象箇所】

本線料金所: 11箇所 / 32箇所 (圏央道内側)
 入口: 4箇所 / 302箇所 (圏央道内側)

5. TSMの試行内容

(3) 高速道路において交通状況に応じて段階的に実施する対策

- 交通混雑が発生しやすい箇所において交通状況をモニタリングし、一定の交通量を超えた時点で、渋滞を未然に防ぐために効果的な入口を閉鎖する。交通量が増加し続ける場合は、入口閉鎖の箇所を追加していく。
(閉鎖対象の入口は以下の図のとおり)
- 閉鎖の解除については、交通状況に鑑み、渋滞等が発生する恐れがなくなった際に実施

高速道路TSM実施箇所図



※試行に向けて、チラシ・ポスター、ホームページ、文字情報板等で周知

都心部拡大図



【TSM対象箇所】

入口：50箇所／302箇所（圏央道内側）
対象の50箇所のうち必要な箇所を段階的に閉鎖していく。

- 入口閉鎖を実施する箇所・時間については、各日の交通状況によって異なる。
- 事故等による渋滞が発生した際には、本線車線規制、区間通行止め、ジャンクションでの方向別規制等のほか、これ以外の入口を閉鎖する場合があります。
- 試行の結果を踏まえて、TSM実施箇所等の見直しを行う。